

第19回 看護国際フォーラム

はたらく看護職の ストレスを活力に換える!

日時: 2017.10/28 SAT. 12:30~17:00

場所: 別府ビーコンプラザ 国際会議場
〒874-0828 大分県別府市山の手町12番1号

募集人員
300名

プログラム

12:30~12:35

開会挨拶 村嶋 幸代 (大分県立看護科学大学 理事長・学長)

12:35~13:35

講演: 医療者における仕事と生活のバランスと健康

60分

講師: 渡井 いずみ RN,PHN,RM,PhD

名古屋大学大学院医学系研究科 看護学専攻 地域・在宅看護学領域 准教授

キーワード▶ ワークライフバランス ワークファミリーコンフリクト

13:35~14:15

講演: 医療者の身体的・精神的及びスピリチュアルストレス

40分

講師: カン・スンワン MD,PhD

韓国 ソウル大学校看護大学 成人老年看護学学科 准教授

国立脳波解析標準化データセンター センター長

Executive Director, National Standard Reference Data Center for Korean EEG

キーワード▶ 交代制勤務 疲労 認知機能障害

14:15~14:35

休憩

14:35~15:35

講演: 医療者のグリーフとレジリエンス

~私たち医療者にケアは必要ですか?~

60分

講師: 下稲葉 かおり PhD,MSN,RN

オーストラリア モナシュ大学 医学・看護学・健康科学部

看護・助産師科 講師・日本プログラムコーディネーター

キーワード▶ グリーフ レジリエンス セルフケア サポート

15:35~16:55

総合討論 座長: 杉本 圭以子 (大分県立看護科学大学)

80分

梅尾 さやか (ゆずの木クリニック)

16:55~17:00

閉会挨拶 竹中 愛子 (大分県看護協会 会長)

講師紹介



渡井 いずみ
RN,PHN,RM,PhD

名古屋大学大学院医学系研究科
看護学専攻 地域・在宅看護学領域
准教授

- 1989年 千葉大学看護学部卒、助産師、産業保健師を経て大学院進学
- 2005年 修士(保健学)号取得(東京大学)
- 2007～2010年 東京大学男女共同参画室特任助教として、女性研究者専門相談員を務めるほか、学内保育園設立などWLB推進に従事
- 2012年 博士(保健学)号取得(東京大学)、主な研究テーマは産業看護、働く女性の健康、子育て支援、WLB支援、保健師活動
- 2013年～ 現職



カン・スンワン
MD,PhD

韓国 ソウル大学校看護大学
成人老年看護学学科 准教授
国立脳波解析標準化データセンター
センター長

- 1999年にソウル大学校医科大学を卒業し、ソウル大学付属病院で臨床研修を行った。
- 2005年に家庭医療の分野で認定医となり、家庭医療分野で1年間、疼痛医療分野で2年間、臨床フェロウシップを経験。
- 2005年、補完代替医療に関する研究を行いCHA大学で修士号取得。研究テーマは、難治性パニック障害患者へのニューロフィードバックの応用であった。
- 2010年、統合医療分野における臨床研究方法に関する研究を行い、慶熙大学で博士号取得。
- 研究における関心事は、EEGやHRVなどの生体信号に基づいたストレスとレジリエンスの定量的測定である。過去5年分のデータに基づき、年齢および性別毎の基準EEGデータベースを作成した。
- 特別な食事、矯正的な運動、瞑想で構成される地域住民のための統合的ライフスタイル改善プログラムを運営した。



下稲葉 かおり
PhD,MSN,RN

オーストラリア モナシュ大学
医学・看護学・健康科学部
看護・助産師科
講師・日本プログラムコーディネーター

- 看護師として外科病棟、ホスピス病棟勤務を経て、1997年よりオーストラリア在住。
- 2001年にモナシュ大学にて修士号取得(緩和ケア専攻)、同年よりモナシュ大学に講師として勤務。また看護師免許を取得し、緩和ケア病棟勤務も経験する。
- モナシュ大学に日本人看護学生の短期研修を受け入れ、「緩和ケア」・「国際看護」の教育に携わっている。
- 2011年には、「緩和ケアに携わるナースの悲嘆とサポート」をテーマにモナシュ大学にて博士号を取得。
- 2013年にはフリンダース大学にて「喪失・悲嘆・トラウマカウンセリング」学位取得。2015年には、モナシュ大学にてカウンセリング修士課程を修了し、グリーフカウンセラーとしても活動している。
- 2013年より日本にて、医療者の死生観、グリーフ、サポートなどに焦点を当てた「医療者のための心のケアワークショップ」を開催している。

参加費

一般 **2,000円** 学生 **500円** (資料代等)

同時通訳用レシーバーを御使用の場合、別途1,000円必要です。
当日、受付にてお支払いください。できるだけおつりのないようお願いいたします。

応募方法

E-mail : forum2017@oita-nhs.ac.jp または 往復はがき に所属、氏名(ふりがな) および 同時通訳用レシーバー使用の有無を明記しお送りください。

なお、往復はがきの返信用には送付先をご記入ください。受付結果を折り返しお知らせします。

〒870-1201 大分県大分市大字廻栖野2944-9 大分県立看護科学大学 看護国際フォーラム事務局宛

応募締め切り

10月13日(金) (定員に達し次第締め切ります。お早めにご応募ください。)